

あべともこニュース

号外
立憲民主
RIKKEN MINSHU

— 臨時国会が始まる！ — 新立憲胎動です！ —

◆無駄なく公平な給付を

十二月六日からの臨時国会は補正予算審議が中心になりますが、まず18歳以下の子供たちへの10万円給付はそもそも考えた方も混乱していますし、実務を預かる自治体にも大きな負担になっていきます。給付は児童手当と同じ考え方なのか、経済対策なのか、何故半額がクーポンなのか、そのために967億円もの経費がかかる事をどうするのかも明確な回答がありません。

そしてコロナにより生活困窮している方々も多い中、その為の支援策も併せて無ければ、不公平感すら生まれまます。子供達をしつかり社会が守ることは何より大事な国としての姿勢ですが、その事を国民が納得できる説明が必要です。

子供の未来は、現在が苦しくてはやって来ません。今回はとりわけ年末を控えて、まず子供の貧困への対策として、メリハリを持って行われるべきです。その意味でクーポンには全く意味がありません。



衆議院議員あべともこプロフィール

神奈川県12区（藤沢市・寒川町）
当選8回、東京大学医学部卒業、
小児科医、あべともこ子どもクリニック（湘南台）理事長
現在、厚生労働委員会・沖縄及び北方問題に関する特別委員会委員長、
原子力問題調査特別委員会委員



あべともこ
公式Twitter
@abe_tomoko

https://twitter.com/abe_tomoko



あべともこ事務所
公式Facebookページ

<https://www.facebook.com/abetomoko.jp>

あべともこ

検索

あべともこと共に歩む会後援会
入会のご案内及びボランティア
スタッフ募集中！



12/10 18歳以下の子どもへの10万円相当給付金に関して、現金とクーポンでの支給については、各地方公共団体の実情に応じて支給方法を決めることを可能にする「子ども給付金全額給付可能法案」を衆議院に提出

◆オミクロン対策は、公衆衛生の観点から

デルタ株による第五派が収束したかに見える中、次の新たな変異株オミクロン株が世界中に広がっています。日本でも検疫の強化が言われ、出入国管理が厳しくなる一方、検査は相変わらずPCRではなく抗原定量検査で、すり抜けも起こる事を指摘していますが、未だに変更されません。

また一度国内に入ってしまった時の流行予測にも下水やトイレの検査が有効であるにも関わらず、まだ取り組みは限られています。

憲法25条にも公衆衛生の充実は国民の生存権の保障として定められています。

緊急事態条項を憲法に入れる云々以前に、まず25条の実現に政治は全力を挙げるべきです。

◆沖縄特別委員会の委員長に。

第207国会で沖縄及び北方問題に関する特別委員会（通称・沖北委員会）の委員長になりました。国会には常設の委員会のほかにいくつかの課題ごとの特別委員会があり、私の担当する沖北委員会は、沖縄と北方領土について、審議をする為のものです。来年には沖縄振興特別措置法の改正が諮られる予定です。

第2次世界大戦での地上戦での大きな被害の上に、さらに基地負担も続いている沖縄が、本当の意味で復興していくよう、与野党の合意を図って、少しでも沖縄の思いに寄り添えるよう、努めたいと思います。